

# 2023年度上期 決算説明会

藤森工業株式会社

証券コード：7917

2023年11月16日

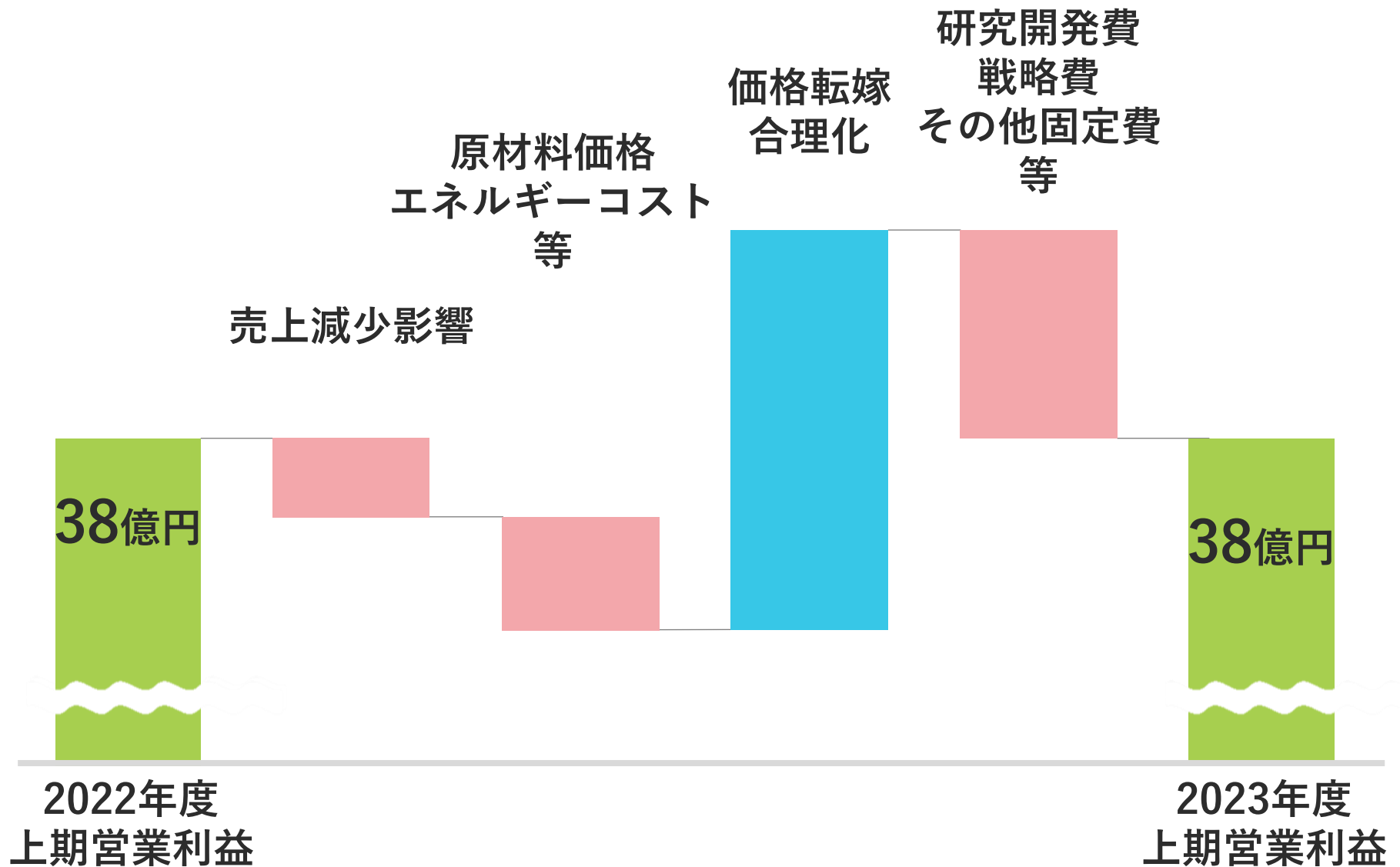
1. 2023年度 上期業績
2. 2023年度 通期業績予想
3. セグメント別状況
4. 財務・投資状況と株主還元

1. 2023年度 上期業績
2. 2023年度 通期業績予想
3. セグメント別状況
4. 財務・投資状況と株主還元

## 2023年度上期は売上高は減収、営業利益は微増

(単位：百万円)

連結	2022年度 上期	2023年度 上期	前年同期比	
			増減	伸び率
売上高	66,258	65,917	△340	△0.5%
営業利益	3,842	3,865	22	0.6%
経常利益	4,499	4,315	△184	△4.1%
親会社株主に帰属 する当期純利益	3,629	3,453	△175	△4.8%

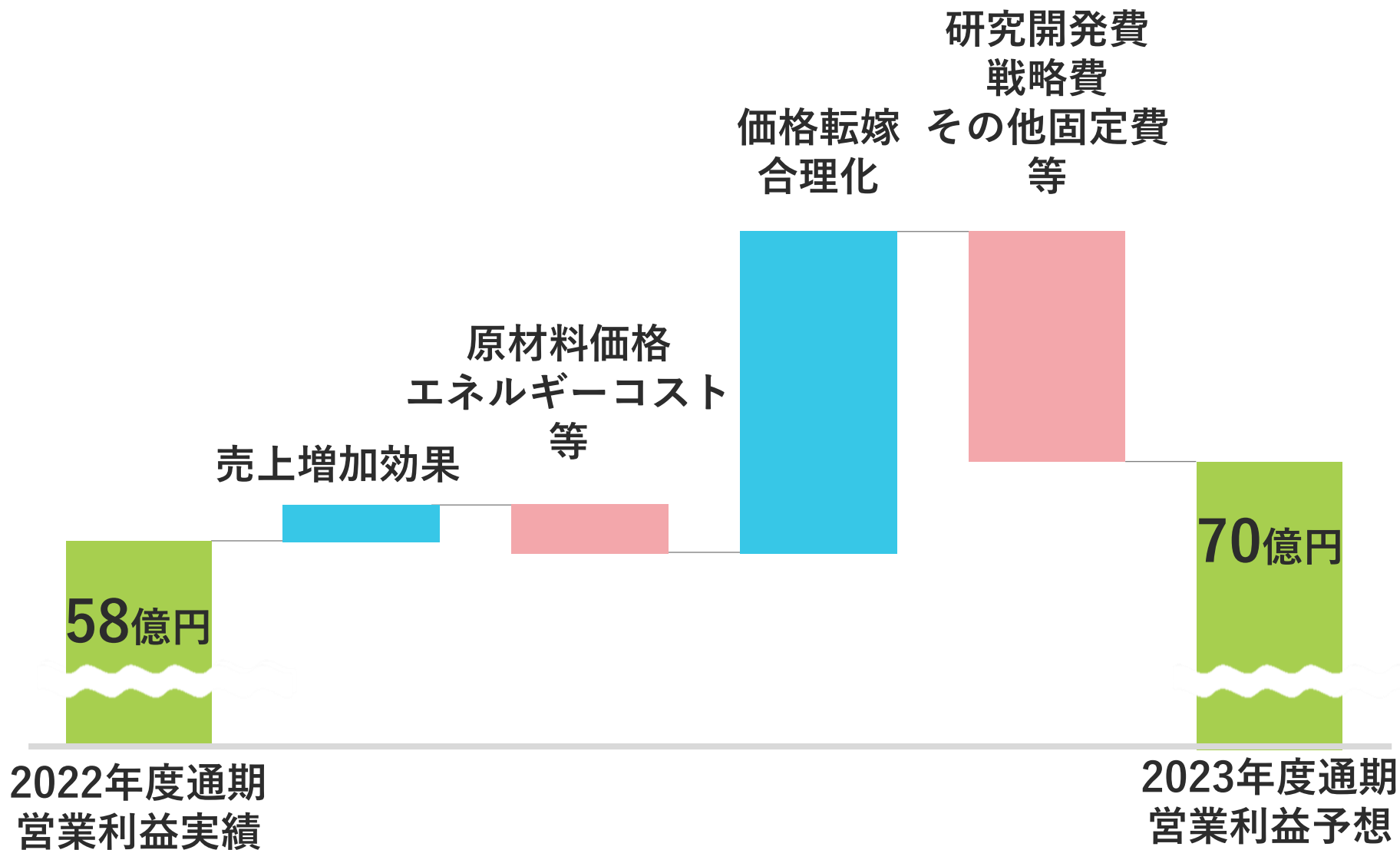


1. 2023年度 上期業績
- 2. 2023年度 通期業績予想**
3. セグメント別状況
4. 財務・投資状況と株主還元

通期業績予想は、売上高は前年度比で増収、営業利益は増益予想

(単位：百万円)

連結	2022年度 通期	2023年度 通期業績予想	前期比	
			増減	伸び率
売上高	129,364	140,000	10,635	8.2%
営業利益	5,882	7,000	1,117	19.0%
経常利益	6,828	7,150	321	4.7%
親会社株主に帰属 する当期純利益	4,854	4,650	△204	△4.2%





1. 2023年度 上期業績
2. 2023年度 通期業績予想
- 3. セグメント別状況**
4. 財務・投資状況と株主還元

	ウェルネス事業	環境ソリューション事業	情報電子事業	産業インフラ事業
				
事業内容	製品とサービスを通じて身体と心の健康の実現を推進する事業	環境問題に向き合い、循環型社会に必要な価値を提供する事業	超スマート社会に必要な高機能部材を提供する事業	生活を支える産業インフラ強化への貢献と企画提案商品による価値提供を推進する事業
製品分野	医薬・医療関連	生活包装及び産業包装関連	ディスプレイ関連	建築資材関連
	バイオ関連	容器	電子部材関連	土木資材関連
主要製品	医薬・医療用包装材	粧業包装、つめかえ包装、食品包装	プロテクトフィルム	ビル用煙突、ボイドスラブ、空調用配管
	バイオ医薬品等製造用シングルユースバッグ	OA機器関連包装	剥離フィルム	トンネル用資材
	医療機器及び体外診断薬関連	プラスチック製液体容器（バッグインボックス）	その他情報関連機器用材	プラスチック原料・商品及び関連機械

(単位：億円)

	2022年度 上期		2023年度 上期		増減	伸び率	2022年度 通期		2023年度 通期業績予想		増減	伸び率
<b>売上高</b>	<b>662</b>	100.0%	<b>659</b>	100.0%	△3	△0.5%	<b>1,293</b>	100.0%	<b>1,400</b>	100.0%	<b>106</b>	8.2%
ウェルネス	<b>131</b>	19.9%	<b>131</b>	20.0%	0	0.2%	<b>270</b>	20.9%	<b>267</b>	19.1%	△3	△1.3%
環境ソリューション	<b>163</b>	24.7%	<b>171</b>	26.1%	8	5.0%	<b>337</b>	26.1%	<b>346</b>	24.7%	8	2.6%
情報電子	<b>218</b>	33.0%	<b>201</b>	30.6%	△16	△7.7%	<b>379</b>	29.4%	<b>463</b>	33.1%	<b>83</b>	21.9%
産業インフラ	<b>148</b>	22.4%	<b>153</b>	23.3%	5	3.4%	<b>305</b>	23.6%	<b>324</b>	23.1%	<b>18</b>	5.9%
<b>営業利益</b>	<b>38</b>	5.8%	<b>38</b>	5.9%	0	0.6%	<b>58</b>	4.5%	<b>70</b>	5.0%	<b>11</b>	19.0%
ウェルネス	<b>8</b>	6.2%	<b>7</b>	5.5%	△0	△11.2%	<b>13</b>	4.9%	<b>9</b>	3.4%	△4	△31.4%
環境ソリューション	<b>9</b>	5.7%	<b>8</b>	5.0%	△0	△8.3%	<b>12</b>	3.7%	<b>14</b>	4.2%	<b>2</b>	17.0%
情報電子	<b>8</b>	3.8%	<b>7</b>	3.6%	△0	△10.6%	<b>4</b>	1.3%	<b>17</b>	3.9%	<b>13</b>	271.3%
産業インフラ	<b>12</b>	8.5%	<b>15</b>	10.1%	2	22.0%	<b>28</b>	9.3%	<b>28</b>	8.8%	<b>0</b>	0.3%

※第1四半期連結会計期間より、当年度の経営体制の変更に合わせて管理区分の一部見直しを行い、報告セグメントを変更しております。

(単位：億円)

	2022年度 上期	2023年度 上期	増減 (22.上期比)	2022年度 通期	2023年度 通期予想	増減 (’22年度比)
売上高	131	131	+0	270	267	△3
医薬・医療関連	114	119	+5	236	238	+2
バイオ関連	17	12	△4	33	28	△5
(減価償却費)	(5)	(4)	(△0.3)	(10)	(11)	(+0.4)
営業利益	8	7	△0	13	9	△4
営業利益率	6.2%	5.5%	△0.7%	4.9%	3.4%	△1.5%

### 2023年度上期

’22年度上期比 **0億円 減益**

- ・ バイオ医薬品等製造用シングルユースバッグの売上はワクチン向け需要の減少により上期は低調
- ・ インドネシア子会社は新型コロナ特需が剥落し減収
- ・ 国内の医薬・医療関連包装材、医薬向け剥離フィルムは堅調に推移
- ・ 開発等の先行固定費投入継続

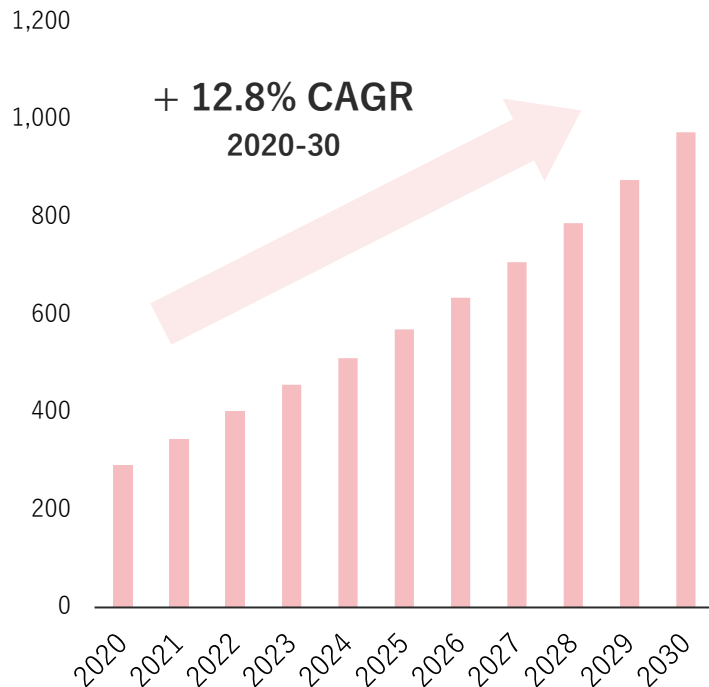
### 2023年度業績予想

’22年度比 **4億円 減益**

- ・ 新型コロナ特需が剥落するなど海外子会社の売上は減少見込み
- ・ シングルユースバッグは下期徐々に回復するものの、昨年度の水準には到達しない見込み
- ・ 国内の医薬・医療関連包装材、医薬向け剥離フィルムは、下期も引き続き堅調に推移
- ・ バイオ関連では、再生医療分野での共同開発費用、医療機器関連での後継機開発等で、固定費投入が増大

ワクチン・抗体医薬を含むバイオ医薬品市場の拡大を見据え、生産・供給体制を強化  
国際情勢に影響されないサプライチェーンの構築をめざす「J-STAC」の活動を推進

世界のバイオ医薬品市場規模予測 (\$bn)



出典：Next Move Strategy Consulting, February 2022, Biopharmaceutical Market by Product and by Application- Global Opportunity Analysis and Industry Forecast 2022-2030



バイファス  
**BioPhas®**

バイオ医薬品等製造用シングルユースバッグ



完成予想図 (24年10月竣工予定)

三重生産拠点 新製造棟を建設中

当社主催の日本国内企業のパートナーシップ



**J-STAC**

Japan Single-use Technology Advanced Collaboration  
シングルユース技術国産化共同体



(単位：億円)

	2022年度 上期	2023年度 上期	増減 (22.上期比)	2022年度 通期	2023年度 通期予想	増減 (’22年度比)
売上高	163	171	+8	337	346	+8
生活包装及び産業包装関連	120	125	+4	245	247	+2
液体容器	43	46	+3	91	98	+6
(減価償却費)	(6)	(8)	(+2.6)	(13)	(17)	(+4.6)
営業利益	9	8	△0	12	14	+2
営業利益率	5.7%	5.0%	△0.7%	3.7%	4.2%	+0.5%

## 2023年度上期

’22年度上期比 **0億円 減益**

- ・生活包装及び産業包装関連では、つめかえ包装を中心に需要が堅調に推移し、増収を確保
- ・液体容器は血液検査関連用途の売上が伸長、マレーシア子会社の新規連結も寄与
- ・海外展開に向けたマーケティング費用等、先行固定費が増大

## 2023年度業績予想

’22年度比 **2億円 増益**

- ・つめかえ包装の需要は下期落ち着く想定、OA機器関連包装での受注増を目指す
- ・液体容器は米国子会社で下期需要が落ち込むが、アジアでは血液検査関連用途の売上は堅調に推移する見込み
- ・先行固定費が増大するものの、収益向上の推進と増収確保により増益を見込む

製造設備の増設を決定。供給能力の向上によりシェア拡大を図ると共に、ロボット化・自動化で生産効率を高め、基盤事業としてのプレゼンスを維持・拡大

液体容器



マレーシア生産拠点

つめかえ包装



インドネシア生産拠点



横浜生産拠点



米国生産拠点

(単位：億円)

	2022年度 上期	2023年度 上期	増減 (22.上期比)	2022年度 通期	2023年度 通期予想	増減 (’22年度比)
売上高	218	201	△16	379	463	+83
ディスプレイ関連	143	158	+14	254	358	+103
電子部材関連他	75	43	△31	125	105	△20
(減価償却費)	(11)	(12)	(+1.4)	(23)	(25)	(+2.3)
営業利益	8	7	△0	4	17	+13
営業利益率	3.8%	3.6%	△0.1%	1.3%	3.9%	+2.6%

### 2023年度上期

’22年度上期比 **0億円 減益**

- ・電子部材関連の情報記録用材は半導体市場の低迷が続く
- ・ディスプレイ関連のプロテクトフィルムは需要が回復
- ・収益向上を進めるが、減収影響を大きく受け減益

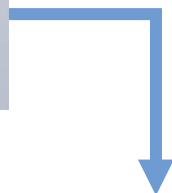
### 2023年度業績予想

’22年度比 **13億円 増益**

- ・昨年度生産調整を大きく受けたディスプレイ関連のプロテクトフィルムは回復し、広幅製品を中心に更なるシェアアップを目指す
- ・電子部材関連の情報記録用材料は、半導体市場の低迷が今年度いっぱい続き本格的な回復は来期となる見込み
- ・損益面では、増収効果から増益を見込む



## 中長期の需要拡大を見据え、生産能力拡張のための設備投資を順次進める



パソコンの心臓部である  
高性能半導体(CPU)の  
層間絶縁フィルムを生産



昭和生産拠点(群馬県)に、  
生産計画と自動連携する設備を導入  
23年度内の稼働を予定

(単位：億円)

	2022年度 上期	2023年度 上期	増減 (22.上期比)	2022年度 通期	2023年度 通期予想	増減 (’22年度比)
売上高	148	153	+5	305	324	+18
建築資材関連	78	79	+0	167	157	△10
土木資材関連	23	24	+1	42	52	+9
化成品	46	49	+2	95	113	+18
(減価償却費)	(2)	(2)	(△0.0)	(4)	(5)	(+0.7)
営業利益	12	15	+2	28	28	+0
営業利益率	8.5%	10.1%	+1.5%	9.3%	8.8%	△0.5%

## 2023年度上期

’22年度上期比 **2億円 増益**

- ・ 建築資材関連では、煙突工事は前年を下回るものの、空調用配管が好調に推移し増収を確保
- ・ 土木資材関連では、トンネル用資材で増収
- ・ 化成品は国内では減収となったものの、中国子会社の新規連結などにより増収

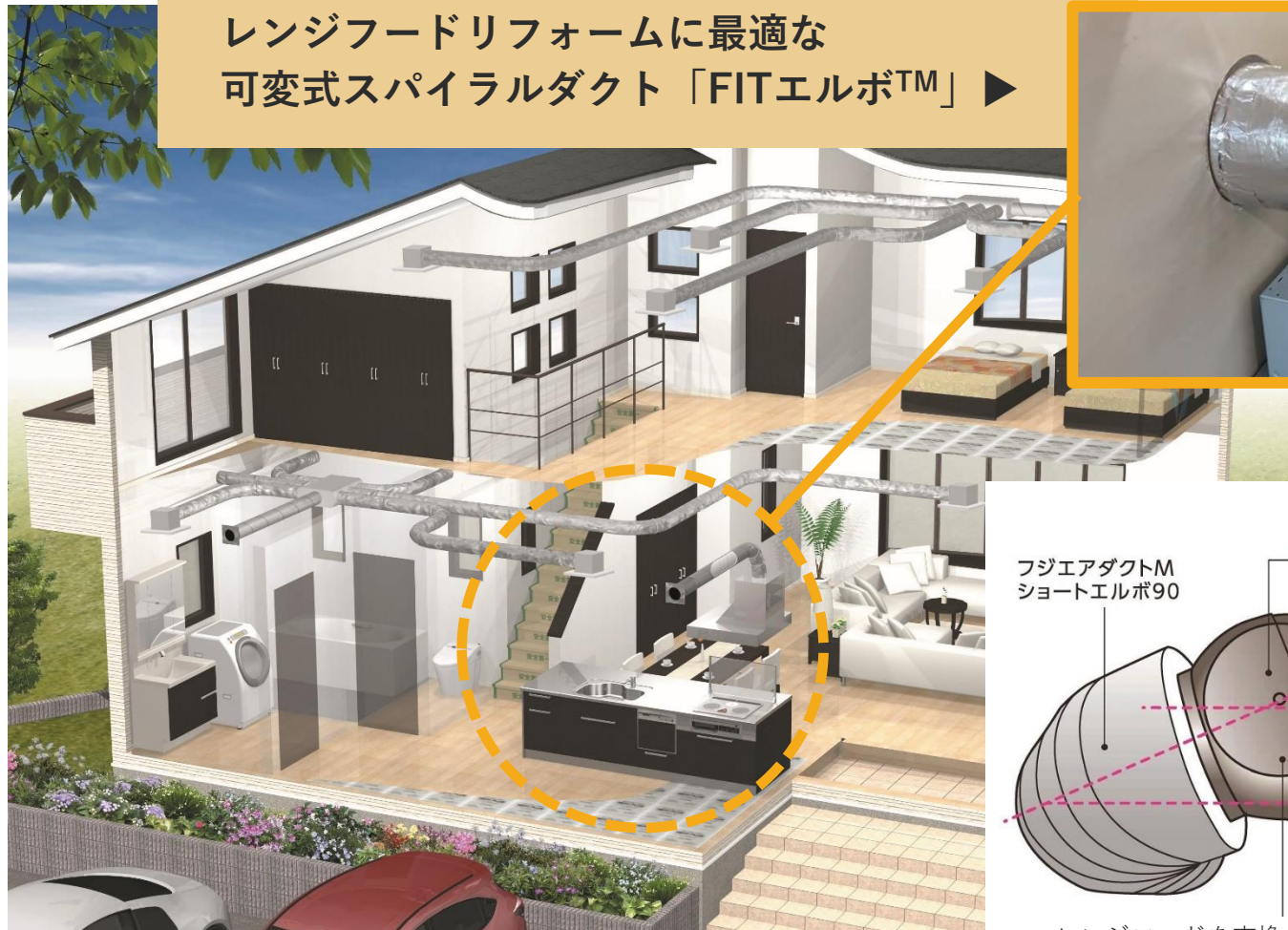
## 2023年度業績予想

’22年度比 **0億円 増益**

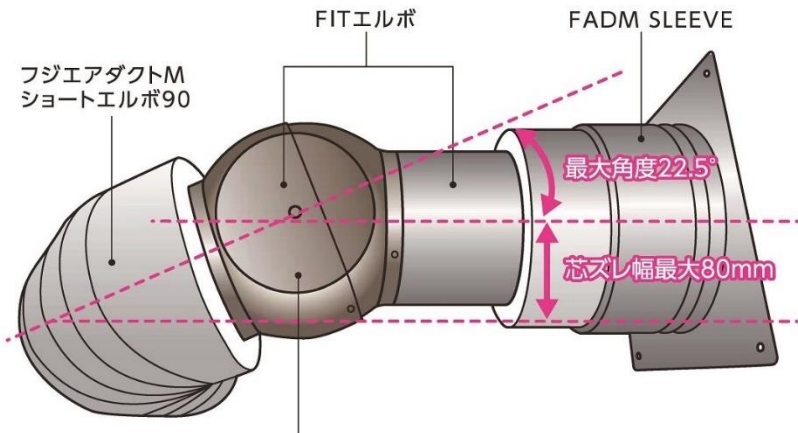
- ・ 建築資材関連の空調用配管と土木資材関連は増収。化成品も中国子会社の新規連結で増収
- ・ 22年度好調だった煙突工事の売上減少影響が大きく、建築資材関連トータルでは減収
- ・ 増収を見込むが、混成影響もあり利益は前期比微増予想

火災予防条例に遵守した施工と、現場作業の省力化に寄与する新製品を販売開始  
条例周知と共に製品採用率を高めながら、主力製品とのセット販売でシェア拡大を図る

レンジフードリフォームに最適な  
可変式スパイラルダクト「FITエルボ™」▶



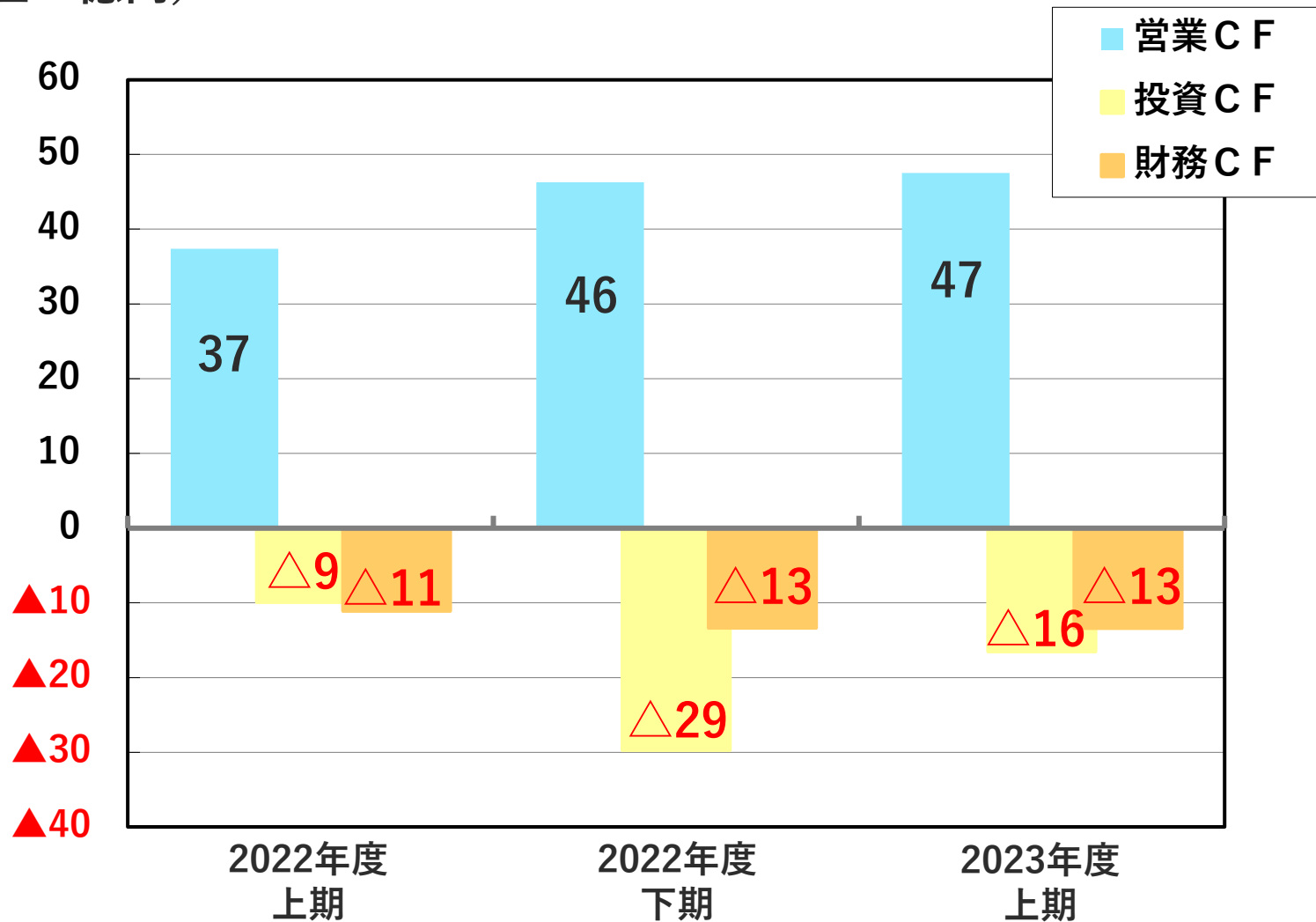
※ FITエルボ™の断熱材は外して撮影



レンジフードを交換する際に生じる穴ずれを現場で解消

1. 2023年度 上期業績
2. 2023年度 通期業績予想
3. セグメント別状況
- 4. 財務・投資状況と株主還元**

(単位：億円)



総資産は114億円増加し、1,399億円となる

(単位：億円)

2022年度末



総資産 1,284  
自己資本比率 63.9%

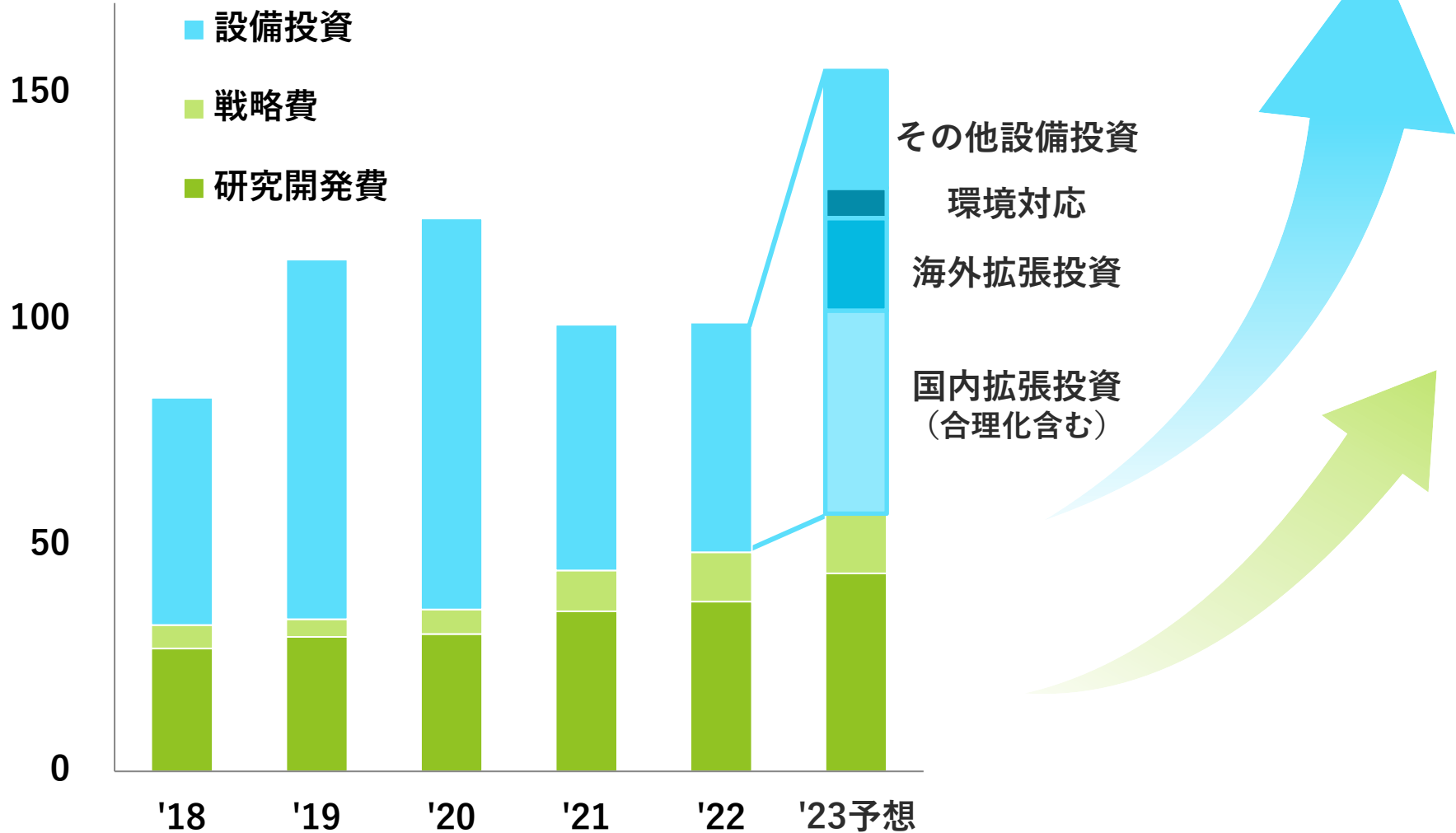
2023年上期



総資産 1,399  
自己資本比率 61.9%

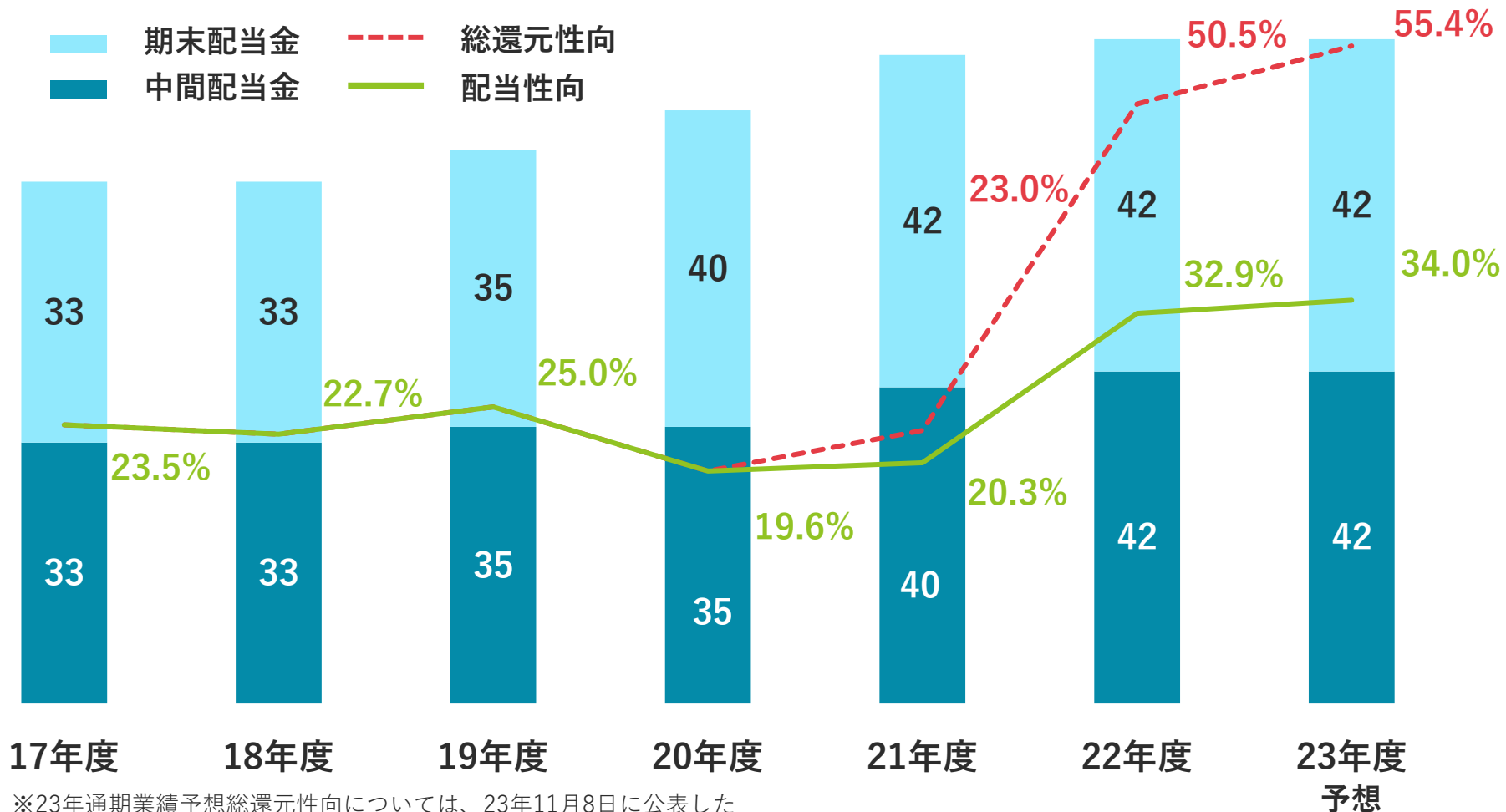
足許の外部環境は厳しいが、既存事業強化・将来成長のための投資を継続

（単位：億円）



安定的・継続的配当が基本。機動的な資本政策を遂行するため、自己株式取得を実施  
23年度の間配当は42円、期末配当も同額を予定

(単位：円)



※23年通期業績予想総還元性向については、23年11月8日に公表した「自己株式の取得に関するお知らせ」に基づく自己株式取得を上限の10億円で行ったとして算出しております。





## Appendix

---

(単位：億円)

		2023年度 期首業績予想		2023年度 通期業績予想		増減	伸び率
<b>売上高</b>		<b>1,400</b>	100.0%	<b>1,400</b>	100.0%	<b>0</b>	0.0%
	ウェルネス	<b>284</b>	20.3%	<b>267</b>	19.1%	<b>△17</b>	△6.2%
	環境ソリューション	<b>350</b>	25.0%	<b>346</b>	24.7%	<b>△4</b>	△1.2%
	情報電子	<b>426</b>	30.5%	<b>463</b>	33.1%	<b>36</b>	8.5%
	産業インフラ	<b>338</b>	24.2%	<b>324</b>	23.1%	<b>△14</b>	△4.2%
<b>営業利益</b>		<b>70</b>	5.0%	<b>70</b>	5.0%	<b>0</b>	0.0%
	ウェルネス	<b>15</b>	5.3%	<b>9</b>	3.4%	<b>△6</b>	△40.0%
	環境ソリューション	<b>14</b>	4.2%	<b>14</b>	4.2%	<b>△0</b>	△0.3%
	情報電子	<b>10</b>	2.4%	<b>17</b>	3.9%	<b>7</b>	74.5%
	産業インフラ	<b>29</b>	8.9%	<b>28</b>	8.8%	<b>△1</b>	△5.3%

※第1四半期連結会計期間より、当年度の経営体制の変更に合わせて管理区分の一部見直しを行い、報告セグメントを変更しております。

(単位：億円)

		2023年度 上期実績		2023年度 下期見込		増減	伸び率
<b>売上高</b>		<b>659</b>	100.0%	<b>740</b>	100.0%	<b>81</b>	12.4%
	ウェルネス	<b>131</b>	20.0%	<b>135</b>	18.2%	<b>3</b>	2.4%
	環境ソリューション	<b>171</b>	26.1%	<b>174</b>	23.5%	<b>2</b>	1.3%
	情報電子	<b>201</b>	30.6%	<b>261</b>	35.3%	<b>59</b>	29.5%
	産業インフラ	<b>153</b>	23.3%	<b>170</b>	23.0%	<b>16</b>	10.9%
<b>営業利益</b>		<b>38</b>	5.9%	<b>31</b>	4.2%	<b>△7</b>	△18.9%
	ウェルネス	<b>7</b>	5.5%	<b>1</b>	1.3%	<b>△5</b>	△76.9%
	環境ソリューション	<b>8</b>	5.0%	<b>6</b>	3.5%	<b>△2</b>	△27.6%
	情報電子	<b>7</b>	3.6%	<b>10</b>	4.0%	<b>3</b>	43.9%
	産業インフラ	<b>15</b>	10.1%	<b>12</b>	7.6%	<b>△2</b>	△16.5%

※第1四半期連結会計期間より、当年度の経営体制の変更に合わせて管理区分の一部見直しを行い、報告セグメントを変更しております。

	'20 通期	'21 通期	'22					'23		
			1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	通期	1 Q	2 Q	通期 業績予想
売上（百万円）	117,250	127,819	33,348	32,909	32,890	30,215	129,364	31,893	34,024	140,000
営業利益（百万円）	10,286	10,341	2,480	1,362	1,434	605	5,882	2,064	1,801	7,000
経常利益（百万円）	10,708	11,102	2,872	1,627	1,611	716	6,828	2,201	2,113	7,150
当期利益（百万円）	7,278	7,693	2,496	1,133	806	418	4,854	1,952	1,501	4,650
1株当たり当期利益(円)	382.43	403.60	131.16	59.39	42.42	22.24	255.68	103.75	79.72	246.91
1株当たり純資産（円）	3,811.40	4,144.85	4,240.93	4,354.34	4,393.12	4,362.66	4,362.66	4,454.76	4,598.31	-
1株当たり配当額（円）	75	82	-	42	-	42	84	-	42	84
自己株式取得額(百万円)	0	208	-	-	-	-	858	-	-	0
総還元性向(%)	19.6	23.0	-	-	-	-	50.5	-	-	34.0
PBR(倍)	1.2	0.9	-	-	-	-	0.7	-	-	-
営業利益率	8.8	8.1	7.4	4.1	4.4	2.0	4.5	6.5	5.3	5.0
ROA(総資産営業利益率)	9.1	8.5	-	-	-	-	4.6	-	-	-
ROIC(投下資本利益率)	9.2	8.5	-	-	-	-	4.5	-	-	-
ROE(自己資本当期純利益率)	10.5	10.2	-	-	-	-	6.0	-	-	-
設備投資（百万円）	8,656	5,436	1,072	1,158	1,242	1,611	5,083	1,475	822	9,800
減価償却費（百万円）	4,928	5,369	1,214	1,261	1,322	1,447	5,247	1,351	1,486	6,073
研究開発費（百万円）	3,038	3,545	905	897	1,026	931	3,759	1,020	1,069	4,381

※23年通期業績予想の自己株取得額ならびに総還元性向については、  
23年11月8日に公表した「自己株式の取得に関するお知らせ」に基づく  
自己株式取得予定250,000株を反映前での数値となります。